



小川中だより "燦々Ⅱ"

自主性
敬愛

No. 36 令和2年1月24日(金)発行

文責：いわき市立小川中学校長 津田 直人

＜特設駅伝部で試走を実施＞

2月1日(土)に開催される市中学校新人駅伝大会に向けて、特設駅伝部は1月から朝練習を行っていますが、1月18日(土)に21世紀の森公園での試走を行いました。

今回は、他の部活動の大会等があり、限られたメンバーでの練習となりましたが、会場には多くの中学校が試走に来ており、雰囲気的にもよい刺激を受けることができました。次回の試走は今週の25日(土)です。これには全員が参加を予定しています。大会まで残り約1週間となりましたが、是非、入賞を勝ち取ることを期待しています。(下の写真は、朝練習の様子)



＜ALTのジェシカ先生、来校＞

1月20日(月)から24日(金)の1週間は、ALTのジェシカ先生が久しぶりに来校し、英語によるコミュニケーション活動を中心として授業が行われました。年末年始、ジェシカ先生は故郷のオーストラリアに帰省していました。皆さんもご存じかも知れませんが、オーストラリアでは大規模な森林火災に見舞われ、コアラやカンガルーなどの動物の他、人々も大きな被害を受けています。ジェシカ先生の友人の中にも、避難を余儀なくされている方もいるとのことでした。

1日も早く、完全に火災が鎮火し、人も動物も安心して生活できるようになってほしいと願うばかりです。

1年生の英語の授業→



＜スペリングコンテストを実施＞

1月20日(月)の3校時に、1・2年生を対象にスペリングコンテストを行いました。この取組は昨年度も実施していますが、小川地区の小中学校で連携して実施している基礎学力向上のための取組の1つです。コンテストの課題は100の英単語で、日本語の意味が書かれたもの50問、英語のスペルが書かれたもの50問となっています。冬休み前に課題プリントを配付して、各自が自主学習として学習に取り組んできました。冬休み明けの英語の授業でプレテストを実施し、その後、本番のテストを行いました。

合格点は85点で全員合格が目標でした。学習内容としては「英単語の意味を覚える、こと」と「英単語を正しく書く、こと」の2つです。例えば、日本語の「朝」は英語では「morning」です。意味を覚える方法としてよく行われるのは単語帳を使った学習です。また、正しく書くためには、やはり繰り返し書いて身に付ける必要があります。これは漢字を身に付けるのと同じです。よく行われる学習は、ノートに5～10回程度書く学習です。どちらも昔から行われている基本的な学習方法です。

将来、実際に英語を使う場面に出会った時に必要となるのが英語の語彙力(単語などの意味や使い方が分かること)です。その他にも、英語を聞き取る力(リスニング)や英語を話す力(スピーキング)、英語を書く力(ライティング)、そして、それらを支える英文法の力が必要になります。これらの英語の能力を身に付けられるように、日々の授業が行われています。まず、授業で理解できるようにすることが基本ですが、特に言葉(言語)の学習では反復が必要となります。その理由は、「使わないと使えなくなる、ことが多いから」です。簡単な例を挙げると、ある漢字を長い間、書かないでいると、その漢字を書けなくなることがあります。日本は島国のため、日常的に英語を使う場面が少ない国の1つです。それを補うためにも自分から英語に親しんでいくことが大切です。

このスペリングコンテストの他に、基礎学力向上のために中学校で取り組んでいることとして、来週実施する計算力コンテスト、国語の授業で行っている漢字ドリル、2・3学年で実施しているテキストを活用した学習、漢字検定・英語検定の推奨などがあります。今後も、これらの取組を継続し、生徒たちの基礎学力の向上を図っていきたいと思います。

<3年生、個別面談が終了>

先週から行われていた3年生の二者・三者面談が終了しました。今回の面談の一番の内容は、県立高校の前期選抜試験の受験校決定にあります。1月に入り、私立高校の受験とその結果発表が次々と行われました。今年の傾向として2点あげられます。1つは、私立高校の受験者が昨年度よりも増えたこと。もう1つは、私立高校の専願・推薦受験者が増えたことです。これは、今年度より、県立高校の選抜方法が変更になったこと（全受験者に学力検査を実施すること）が、その要因の1つとして考えられます。

前期選抜の受験校を決定する際に考慮する点は、実際に高校生活を送ることになる受験生本人の考え、それを応援する保護者の考え、客観的なデータに基づいた先生方のアドバイスです。これらを総合的に考え、最終的には受験者本人と保護者が決定していきます、目標を決めたら、あとは突破に向かって全力で戦うのみです。

<3年生、中学校最後の期末テストを実施>

1月23日（木）に、3年生の期末テストを行いました。これで3年生は、中学校での定期考査がすべて終了となりました。振り返ると、1・2年生時は年間5回の計10回、3年生時は1学期が期末テストのみとなったため年間4回、3年間で14回の定期考査を実施していきました。

それぞれのテストに向けて、範囲を確認し、計画表を作成してテストに臨んできました。テスト実施後、答案を返却されて喜んだり、がっかりしたりと様々な思い出がよみがえってくると思います。

“もう少し計画的に勉強すればよかった”、“テスト範囲を全部復習できなかった”などの反省もあるかも知れません。しかし、それも経験の1つです。こういったことを通して、“見通しをもつことの大切さ”や“具体的な計画を立てることの大切さ”などを学んでいきます。これらは、今後の高校生活や社会に出てからも必要となります。達成させたい目標があったり、重要な仕事を任されたりすれば、なおさら重要となります。

県立高校受験まで残り40日となりました。この40日間をどう過ごすか、何を、どのように学習するか。今の自分にとって最も有効な学習を考え、実践していくことが大事です。自分ではよく分からない場合は、先生方に相談することも必要です。

<ふくしまを十七文字で奏でよう絆ふれあい支援事業で学校賞>

県教育委員会の事業である「ふくしまを十七文字で奏でよう絆ふれあい支援事業」の表彰が先日行われ、小川中学校が「学校賞」を受賞しました。これは、保護者の皆様のご協力を得ながら、国語の授業の中で学校全体として取り組んできたことが評価されたものです。ご協力をいただいた皆さんに、改めて御礼申し上げます。今回は、出品されたうちの代表2作品をご紹介します。



肩ならべ 食器を前に せいくらべ（3年生徒） 皿洗う 後ろ姿が 頼もしく（母）

そっと消し 寝ている母の 部屋を出る（1年生徒） 深夜起き 寝てる子部屋の 電気消す（母）

<PTA文化委員会を開催>

今週の21日（火）の19時より、大会議室でPTA文化委員会が開催され、PTA会報の編集会議が行われました。PTA会報は年2回発行されますが、今回は2回目の発行に向けた編集会議でした。今回の編集会議で、掲載する内容や紙面のレイアウトなどを決定しました。今後、関係する生徒や保護者の皆様への原稿依頼があると思いますが、その際は、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、お忙しい時間帯にもかかわらず、今回の編集会議にご参加いただきました保護者の皆さんに、改めて御礼申し上げます。

<市中学校美術展のお知らせ>

例年、開催されています「市中学校美術展」が下記のとおり開催されます。本校からも生徒の作品が出品されていますので、お時間のある方は、是非、足をお運びください。

[場 所] 産業創造館・企画展示ホール（ラトブ6階）
[開催日] 令和2年1月25日（土）～28日（火） ※1/27（月）は休館日
[時 間] 9：00～16：00 ※銀座通り側のエレベーターを利用して6階へ
[その他] 入場無料

【来週の予定】

月 日	曜日	給食	お も な 行 事
1月27日	月	○	放送朝会 集金日 福島高専学力選抜出願（31日まで） ICT 支援員来校
1月28日	火	○	SC・司書来校 地区地域学校保健委員会（15:00～）
1月29日	水	○	ノ一部活デー 職員会議
1月30日	木	○	修学旅行費集金（2年生、7:50～） 安全点検
1月31日	金	○	計算力コンテスト（6校時） 3年学力テスト（最終回）